

製品名: カテニン γ ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab08006**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、 -20°C で保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	82kDa

抗原情報

遺伝子名	JUP
別名	JUP; CTNNG; DP3; Junction plakoglobin; Catenin gamma; Desmoplakin III; Desmoplakin-3
遺伝子 ID	3728.0
SwissProt ID	P14923
免疫原	抗血清はヒトカテニン γ 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 696-745

背景

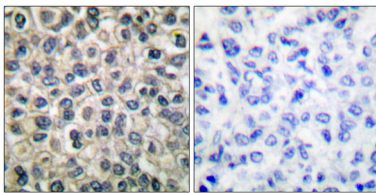
この遺伝子は、デスモソームと中間結合部の膜下プラークに共通する唯一の既知の構成要素である主要な細胞質タンパク質をコードしています。このタンパク質は、カドヘリンおよびデスモソームカドヘリンと明確な複合体を形成し、アルマジロリピートと呼ばれ

る明確な反復アミノ酸モチーフを含むため、カテニンファミリーに属します。この遺伝子の変異はナクソス病と関連付けられています。この遺伝子では選択的スプライシングが起こりますが、すべての転写産物が完全に記述されているわけではありません。[RefSeq 提供、2008年7月]、疾患：JUPの欠陥は、家族性不整脈性右室異形成症12型（ARVD12）[MIM:611528]の原因です。不整脈性右室心筋症12型（ARVC12）とも呼ばれます。ARVDは、右室心筋の部分的な変性、電気的不安定性、および突然死を特徴とする常染色体優性疾患です。臨床的には心電図および血管造影の基準によって定義されます。病理学的所見として、心室心筋の脂肪組織および線維組織への置換が認められ、特に右室自由壁に顕著に認められます。疾患：JUPの欠陥は、ナクソス病（NXD）[MIM:601214]の原因です。NXDは、びまん性の非表皮剥離性掌蹠角化症と、不整脈性右室異形成/心筋症および羊毛様毛を伴う常染色体劣性疾患です。機能：共通接合部プラークタンパク質。膜関連プラークは、組織内の細胞骨格と細胞の配置と機能に影響を与える重要な戦略的位置にある構造要素です。プラコグロビンがデスモソームと中間結合部の両方に存在することから、膜下プラークの構造と機能において中心的な役割を果たしていることが示唆される。配列注意：翻訳時にN末端が短縮される。類似性：β-カテニンファミリーに属する。類似性：9つのARMリピートを含む。細胞内局在：可溶性かつ膜結合型で細胞質に存在する。サブユニット：ホモ二量体。MUC1と相互作用する。

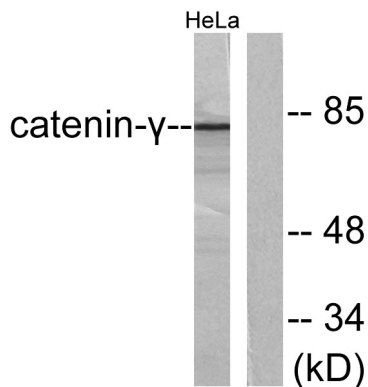
研究分野

がんの経路、急性骨髄性白血病、不整脈性右室心筋症 (ARVC)

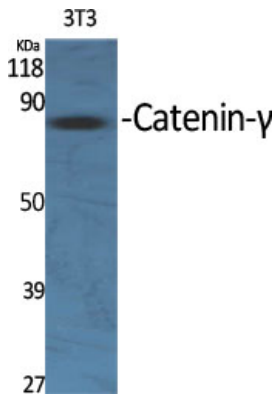
画像データ



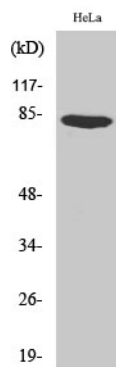
カテニン-γ抗体を用いたパラフィン包埋ヒト乳癌組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



HeLa細胞ライセートのカテニンγ抗体を用いたウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



1: 2000 希釈のカテニン γ ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析



1: 2000 希釈のカテニン γ ポリクローナル抗体を用いた HeLa 細胞のウェスタンブロット解析